

都内階段めぐり 続編

さかのうえの た むら ま さ か ず
坂上田村正和

時の流れは速いもので、炎天下の中階段巡りをして汗だくだく！と感じていた頃とは打って変わってめっきり涼しくなっていました。

評判がいいと勝手に決めつけ続編を書かせていただきます。

初めは文京区根津にある、通称お化け階段（文京区根津1-20）です。

その名の由来は、上るときは40段、降りるときは39段と段数に違いがある、ということです。何のことはない、上るとき初めの1段が段差が小さすぎて、また道路と色がにているのです。この数センチの段差を降りるときに数えていない、というのが真相のようです。また、以前は薄暗く、しかも折れ曲がっていて先が見通せない、ということもあっての謂れかと思います。

近くには根津神社があります。



お化け階段下



お化け階段上

次は文京区目白台1丁目と豊島区高田1丁目の境にある胸突坂。坂と言っても階段で、胸を突くようにして登らなくては、というのがその名の由来です。かなりの段数があり途中で休めるようにと椅子がおいてあります。目の前を女子高生が自転車に乗って颯爽とやってきました。さすがに階段の手前で降りて、且つ荷物など落ちないように点検して、先ほどとは打って変わって階段脇のスロープで自転車を



胸突き坂下



胸突き坂上

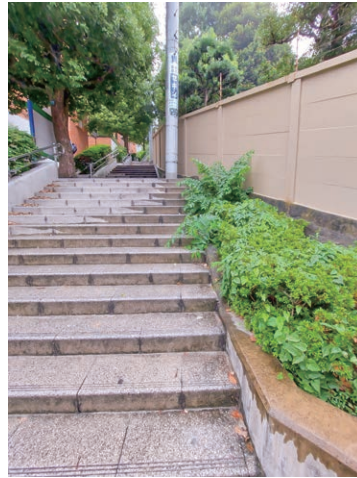


胸突き坂銘板

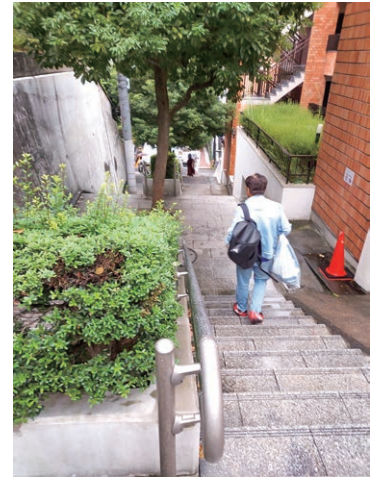
押しながらガラガラと登っていきました。毎日ご苦勞様。上で待ち構えていてよく冷えたりポビタンDをあげたい気分です。

坂の上には椿山莊が、下には肥後細川庭園などが。都電の終着駅、早稲田からほど近くににあります。

赤坂の山脇学園からTBSに向かったところではいきなり丹後坂(港区赤坂4-5 辺り)という66段もある階段に出くわします。赤坂というくらいで本当に坂だらけですが、私はこの階段が一番好きです。謂れは米倉丹後守の屋敷があったからだそうです。この辺りは最近すっかり減ってしまった和菓子の名店が沢山あっていいですねえ。階段や坂を上って下って疲れたのでぬれ甘納豆を買いました。以前は錦糸町



丹後坂下



丹後坂上

からすぐ、バームクーヘンで有名な乳頭製菓さんのそばにとっても美味しいぬれ甘納豆屋さんがありましたが、高齢で廃業されてしまいました。そこへ行くとこの地は見渡せば虎屋の羊羹、福砂屋のカステラ、赤坂青野の和菓子、相模屋のあんみつなど、枚挙にいとまがありません。

以前赤坂のTBS近くに簾屋さんをしている親戚がおり、娘が出産のため里帰りの際、新生児用の紙おむつを赤坂見附駅前のマツモトキヨシまで買いに行くと、置いてなくて箱でなら取り寄せられると言われ、仕方なく渋谷のデパートまで買いに行ったそうです。また千代田線に乗って綾瀬のスーパーに買い物へ出かけるとご近所さんとよく会う、などと聞いていました。いがいとお買い物難民！？。

付近には氷川神社、乃木神社など見どころ豊富です。

日暮里駅から谷中方面へ行くとすぐに出くわすのが夕焼けだんだん(荒川区西日暮里3-14)です。階段を降りるとレトロな風情の谷中銀座商店街が広がっています。店の屋根にはところどころ本物と見間違えるような猫が！実はこれ、近くの東京芸術大学の学生たちによるアート作品なのだそうです。そういえば私の推しているミュージシャンたちも以前この階段を使って演奏活動をしていました。

近くには谷中墓地があり、徳川慶喜・渋沢栄一・長谷川一夫等多数の著名人等の墓があります。羽二重団子が有名。



夕焼けだんだん下



夕焼けだんだん上

日暮里舎人ライナー先頭車両の最前列に乗ると地上からのパノラマ風景(景色はいまいちですが)を見ることが出来ます。

日無坂(文京区目白台1丁目と豊島区高田馬場3丁目の間)は今回取り上げる中では1番のお気に入りの階段です。都電鬼子母神停留所からすぐのところにあります。住宅街の中を普通に歩いていると突然現れ、通勤や通学の人たちに欠かせない階段、といったところでしょうか。朝の通勤時間帯7時半ころ伺いましたが、坂の下には地域の住民の方がいらして「おはようございます」と声をかけていただきました。



日無坂下



日無坂上

幅は狭く、左右に区切られており、右側通行が暗黙の了解の様です。登りきると富士見坂と合流。こちらは車も通れる広い坂道です。

江戸時代はうっそうと木が茂っていてこのように呼ばれているとか。私が気に入った理由は生活に不可欠で、少し曲がっている風情、街並み、といったところでしょうか。

最後のご紹介するのは都営地下鉄新宿線曙橋からすぐの念仏坂(新宿区住吉町9-1)。駅を出て商店街を少し歩き、路地を右折すると目の前に現れる階段は幅広く幾重にも曲がっており、見ごたえがあります。名前の由来は昔近くに老僧が住んでいたから、周りが崖で階段を上り下りするときに念仏を唱えていたから、などがあるそうです。



念仏坂下



念仏坂上

とにかく人通りが多く、また以前は坂の上にフジテレビ本社があったそう

です。登り詰めると心持ち空気が爽快に感じます。湿気の多い谷底から上がってきて、じめじめ感から解放された感じ。

まだまだ都内には魅力的な階段が数多くあります。でも切りがないので次は横浜、山梨県上野原市を訪ねるつもりです。